

イセエビ



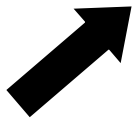
- ・ 沿岸の岩礁域に生息し、主に外房地区で刺網により漁獲される。
- ・ 着底2年後に制限全長の13 cm(80g 前後)に達する。
- ・ 産卵期は5~9月。

資源評価

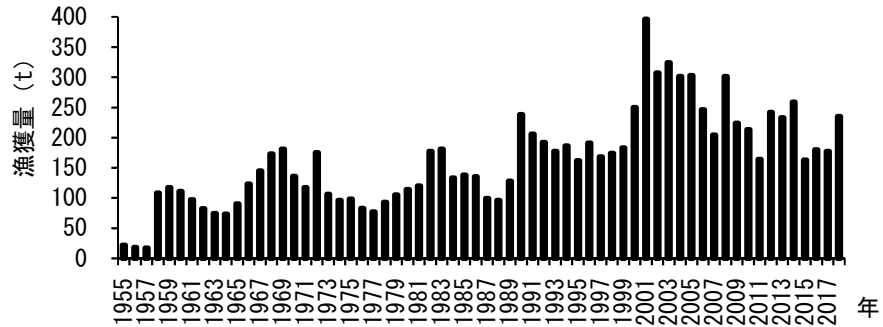
水準：高位



動向：増加



漁獲量



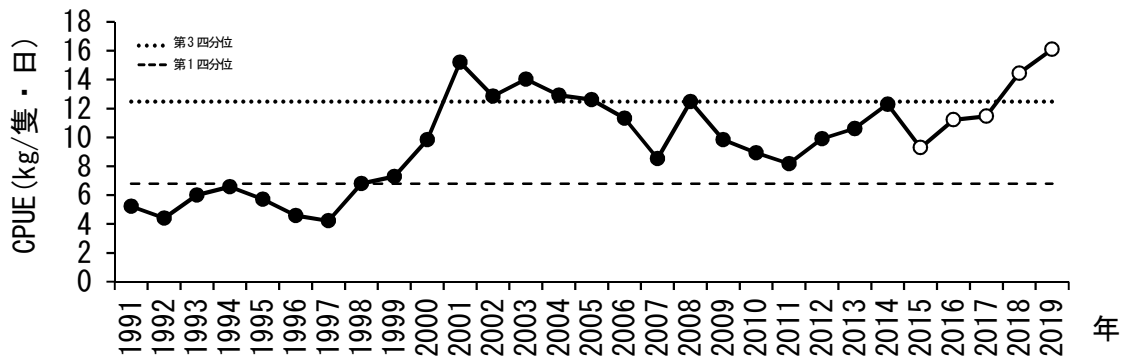
イセエビ漁獲量の経年変化
(千葉農林水産統計年報, 漁業・養殖業生産統計)

- ・ 1955年以降緩やかな増加傾向にあり、2001年は過去最大の396 tとなった。2002年以降は200~300トン前後で推移。
- ・ 2018年は235 t。

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(CPUE)から4分位により評価した。
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は主要地区刺網漁業のCPUEで判断した。
- ・ 2019年の資源水準は過去29年間で高位。最近5年間の資源動向は増加傾向にある。



イセエビ主要地区刺網漁業 CPUE の経年変化

資源管理の取り組み

- ・ 千葉県漁業調整規則で制限全長(13 cm以下のものは採捕してはならない)と禁漁期間(6/1~7/31)が定められている。
- ・ 漁具(反数)の制限, 操業時間の制限, 小型個体の再放流等, 漁業者による自主的な資源管理が行われている。